

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
数学	数学A	普通科・1学年	2
教科書	[主たる教材] 数学A Advanced (東京書籍)		
副教材等	[副教材] PRIME 数学 I +A (東京書籍), NEW ACTION LEGEND 数学 I +A (東京書籍)		

1 学習目標

場合の数と確率, 図形の性質及び整数の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 知識、技能の習得に向けて
基礎的・基本的な知識の習得及び基礎的・基本的な計算ができるようになること
- ② 思考力、判断力、表現力の育成に向けて
既習の知識などを活用してその理由を考察するとともに、それを適切に表現し、処理できるようになること
- ③ 学びに向かう力の涵養に向けて
基礎的な知識を応用して、さらに発展的な問題に応用できるような力を培うこと

3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 場合の数と確率	第1節 場合の数	場合の数を求めるときの基本的な考え方を理解し、具体的な事象についての総数を求める。	12	課題の取り組み 課題テスト
5		第2節 確率とその基本性質	確率の意味やその基本的な性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用する。	5	定期テスト 授業の取り組み
6		第3節 いろいろな確率	独立な試行の意味や条件付き確率の意味を理解し、それらの確率を求める。	7	定期テスト
7		第2章 整数の性質	第1節 約数と倍数	素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現する。	12
9	第2章 整数の性質	第2節 ユークリッドの互除法と不定方程式	ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて2つの整数の最大公約数を求める。また、二元一次不定方程式の整数解を求める。	5	定期テスト 授業の取り組み
10		第3節 整数の性質の活用	分数・小数の性質や二進法などの仕組みを理解し、整数の性質を事象の考察に活用する。	3	定期テスト
11		第3章 図形の性質	第1節 三角形の性質	三角形に関する基本的な性質について理解し、それらが成り立つことを証明する。	6
12	第3章 図形の性質	第2節 円の性質	円に関する基本的な性質について理解し、それらが成り立つことを証明する。	5	課題の取り組み 課題テスト
1		第3節 作図	基本的な図形の性質などをいろいろな図形の作図に活用すること。	2	授業の取り組み
2		第4節 空間図形	空間における直線や平面の位置関係やなす角について理解する。また、多面体などに関する基本的な性質について理解し、それらを事象の考察に活用する。	5	定期テスト
3		課題学習			2

計 64 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

- ・毎週末課題を出し、週の初めに確認テストを行う。
- ・長期休業中の課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)	(知識・理解)
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能 知識・理解
数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none">・学習活動への参加状況・課題の提出状況・質問に対する発言や発表の内容・プリントや課題の解法内容・授業中の確認テスト・定期考査、課題テスト などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

数学Aは、高校数学（のちに習う数学Ⅱ, B, Ⅲ）の基礎となるとても重要な科目です。大学入試においても文系・理系を問わず、センター試験において受験が課されています。したがって、数学Ⅰの内容をしっかりと学習することが、自己の進路実現につながるはずです。

学習の基本である授業を大切にしましょう。受け身で臨むのではなく、自ら積極的に考えることが大切です。学ぶ内容は中学校で学習した数学に比べ、範囲が広く高度になっています。それゆえ、毎日の家庭学習は不可欠です。授業の内容を復習し、理解できているか確認することが重要です。問題が解け、理解できたときの達成感や満足感を得られるよう、私たちと一緒に粘り強く頑張りましょう。

(担当：安 部)